

講義の最初に確認

Nobuyuki TOSE

May 06, 2020

講義の進め方

- スケジュール** ・最初の 30 分程度は，通信状況が許せば，WebEx を用いて講義と講義の間の接着剤として話をします．後述の小テストに関して必要ならば解説をすることもありますし，ビデオの補足をすることもあります．
- ・最後の 30 分は小テストをします．内容とレベルは毎回の演習問題レベルです．これは諸君が内容を理解しているか確認のためです．できなかつたら，勉強すればいいのです．それ以外に解決はありません．
 - ・残りの時間，すなわち中間の時間は質問を受け付けます．

講義の進め方 (2)

- 小テスト** ・小テスト問題は「授業支援」の講義のページにあるレポートから原則として講義終了 30 分前からダウンロードできるように設定します。(ダウンロード可能になるまで、提出を含めて見えませんので、慌てないように.)
- ・解答用紙は毎回共通で、手書きで作成して PDF 形式で提出してください。ほとんどの人はスマートフォンで写真に撮って、PDF 形式にするという流れだと思いますが、それについてはすでに説明してあります。ファイル名は学籍番号 L01.pdf という形式にしてください。第 1 講義は L01 です。
 - ・提出は講義終了後 5 分以内となっています。提出は最初の間は、「授業支援」の該当のページにあるレポートのところにしましょう。

PDF ファイルの作り方 Adobe の Scan アプリがお勧めです。その他にも、Google Drive などのクラウドを使う方法がありますから、これは資料を「資料置き場」からリンクしておきます。

講義の進め方 (3)

教科書・参考書 ・教科書は必要ないと思います。資料が十分にあります。演習問題もたくさんありますから、参考書は不要だと思います。

資料・伝達 ・ビデオ、演習問題などの資料は URL

<http://web.econ.keio.ac.jp/staff/tose/cours/2020/CalcNT/>
からリンクをします。

・機密性の高い情報は「授業支援」のお知らせとメッセージで伝達します。機密性が低くて緊急性のない情報は「資料置き場」の News 欄に書いておきます。

質問 ・質問は随時、「授業支援」システムのメッセージを使って送ってください。数式を書く必要がある場合は、手書きの文書を PDF にしてメッセージで送ってください。掲示板もあって、諸君も書き込めるようにしてあります。

・「授業支援」のメッセージですが、返信はできます。

・リンク切れなどの緊急を要する場合は、

nobutose(at)keio.jp に電子メールで送ってください。

講義の進め方 (4)

- メールアドレス ・セキュリティを考えると keio.jp メールアドレスを常用してください。
- ・レポートを返却するのに keio.jp アドレスを教えてください。今日中にメッセージに返信する形で
学年・組・学籍番号・アドレス
を送ってください。

学習の進め方

ノート ・資料があるからノートなんていらなと思うかもしれませんが，資料が大量になりますから，まとめのノートは作った方がいいと思います。

演習問題 演習問題は講義内容に密接に作ってあります．ビデオを視聴することに加えて問題を解きましょう．

講義の枠組み

1年

前期
微分積分入門
線形代数

後期
微分積分
線形代数続論

近代経済学の4本柱

マクロ経済学

ミクロ経済学

計量経済学

経済史

2年

前期
経済数学 I

後期
経済数学 II

その他

教科書 コアテキスト「経済数学」(戸瀬信之・新世社)

欠席 3回まで

小テスト 毎回小テストをする

意味のない答案 名前を書いて問題を写しただけの答案は欠席2回分とする

代返 代返は実行犯も同じペナルティーを受ける

演習問題 演習問題は毎回配布する。解答はwebに置く

webpage 講義のウェブページは「Nobuyuki Tose」で検索すると見つかる

電子メール nobutose(at)keio.jp ((at)を@にする) keio.jp以外のメールは読まない可能性がある。